

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 28 日

評価対象事業		評価者	環境保全課長 丸山 剛	
環境-18	実施事業	環境美化事業	☒ 自治事務	主管課 環境保全課
			☐ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	まちの美化

1 事業の目的

対象	市民等
意図	快適な生活環境の実現のため。
効果	散乱ごみ・不法投棄をさせないまちづくりの促進を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・不法投棄、ごみのポイ捨てをさせないまちづくりをめざし、持ち帰り等の普及・啓発活動を実施した。
・山林、道路際、谷戸、などの不法投棄されやすい場所をパトロールするとともに、啓発用看板を設置し投棄の未然防止に努めた。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口 177,243人 世 帯 数 80,676世帯 事業の対象者数	176,869人 80,928世帯	人 口 176,466人 世 帯 数 81,150世帯 事業の対象者数		・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円)	314	当初予算(千円)	0	平成29年度からま ちの美化推進事 業に統合。
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	314	一般財源	0	
	人員配置数	1.5	人員配置数	0.0	
事業経費運営	人件費(千円)	11,446	人件費(千円)	0	
	総事業費(千円)	11,760	総事業費(千円)	0	
	市民1人当りの経費(円)	66	市民1人当りの経費(円)		
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	1. 統合できる
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
	協働実施済	協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市まち美化推進員
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☒ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		見直しの内容 まちの美化推進 事業へ統合
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 いまだに多くの場所で不法投棄が見受けられるため、不法投棄等は違法行為であることの周知・啓発に努め、環境美化を推進事業の維持継続は必要である。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	不法投棄物については、散乱ごみ等を増やす原因になることから、早期に対応して状況の改善を図っている。限られた人員の中で対応に時間がかかることもあるが、観光客を含め、周知・啓発の広報や看板の設置など周知に努めて被害の拡大を防いでいきたい。まちの美化の推進にかかる業務を一元化することにより事務の効率化を図ることを目的として、これまでの「環境美化事業」、「美化運動事業」及び「公衆トイレ清掃事業」の3事業を「まちの美化推進事業」として1本化した。	

